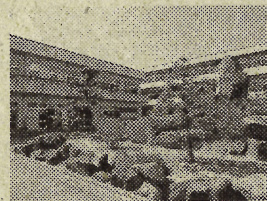
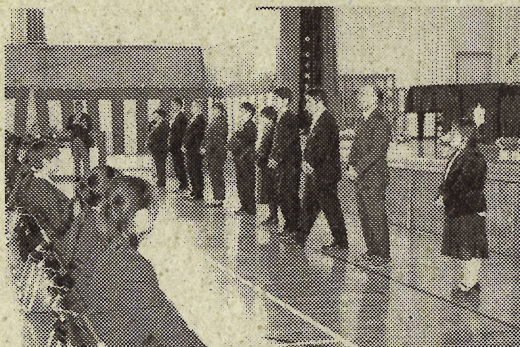




# 大志ゆめみん



## ＝ 令和6年度 入学式式辞 ＝



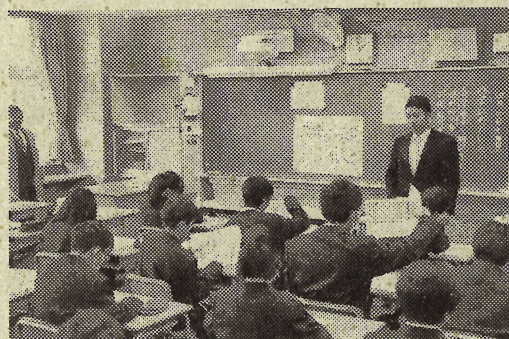
肌寒い日々が続いていたここ松本平にも少しずつ春の足音が聞こえてくるようになりました。昇降口前の桜が満開になる日も遠くないと感じられる、この佳き日に、松島中学校の一員となった新入生の皆さん、本校へのご入学、おめでとうございます。皆さんの入学を先生方や先輩たちと楽しみに待っていました。本校には、「がまん 気づき 思いやり」という言葉が長く伝えられてきています。それぞれの言葉がもつ意味を大切に、本校での3年間の中学校生活が充実したものとなるようにみなさんに期待します。

入学にあたり、私から新入生の皆さんに、お話ししておきたいことが一つ、あります。みなさんは、「多様性」という言葉を聞いたことがありますか。「多様性」とは、「いろいろな違いをもった人が一緒にいる」という意味です。学校で生活するということは、多様性の中で生活することです。皆さんが一年間一緒に生活するクラスにも、違う小学校からの人、小学校が同じでもクラスが違った人がいます。きっと、いろいろな人がいます。気が合う人、合わない人。同じ考えの人、違う考えの人。多様な人がいます。皆さんはその多様な人たちとどう付き合えばいいと考えますか。

私は、「楽しんでほしい」と思います。自分とは違う、気が合わないと感じる人と付き合うことは、最初はイライラしたり、腹が立ったりということもあるかもしれませんが、ですが、自分と違う所が多い人ほど、自分にはないものの見方や考え方をします。その違いを楽しんでください。そのことはあなたに良い影響を与え、あなたを変えてくれます。成長させてくれます。人間としての幅を広げてくれます。いろいろな考え方ができ、より多くの人々の思いを理解できる人にしてくれます。社会に出てからもしっかりと生きていける力をつけてくれます。そして、あなたの人生を楽しく、豊かなものにしてくれます。あなたの近くにいる、あなたと違う人は、あなたを魅力的な人にしてくれる、あなたのサポーターです。避けるのではなく、いがみ合うのではなく、楽しんで付き合っていくてください。それが、クラスを居心地の良いものに、皆さんの学校生活を楽しいものにするにもつながると思います。そんな学級、学年、学校となることが、校長としての私の願いです。多様な人と充実した学校生活を送ってください。

さて、保護者の皆さま、お子様のご入学おめでとうございます。本日より、私たち職員一同、お子様たちの成長のため、全力で教育活動に取り組んでいく所存です。保護者の皆さま方には、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本校を温かく見守っていただいている地域の皆様方、松本市、松本市教育委員会様、そして保護者の皆様方のご多幸と、新入生の皆さんの輝かしい未来を祈念して、式辞といたします。





## ＝ 1 学期始業式 学校長の話（趣旨） ＝

今年の本校のグランドデザインには「多様性を認める広い心を持ち、社会に出ても力強く生きていける生徒」を育てたいと書いてあります。このことについて話します。

4月に入って、新しい先生方がいらして、会議をすると、いろんな意見が出ます。去年までは話題にならなかったことについて「これはどうなっているんですか」と聞かれて初めて、「そういう見方もあったのか」と気づかされることがあります。また、去年の係の先生のやり方とは違うやり方を提案されたりします。それもまた、「そういうやり方もあるんだ」と思うことがあります。年齢も、経験も、出身地も異なっている、いろんな先生方がいます。多様な先生方が集まっています。そこで、また、新しいものが生まれています。

「多様性」と言えば、例えば去年、講演会で学んだジェンダーといった性に関わる多様性もあるでしょう。障がいと言われるものをもった人もいます。また、自分の身近にいる、自分と考え方、価値観が異なるクラスメイトや先生たちの存在も多様性かと思えます。みなさんは、そんなふうに関わる人に出会った時、どうしますか。学校で育てたい「多様性を認める広い心」というときは、どのような行動になるのでしょうか。考え方や思いの違いはあるけれども、それを受け入れ、違いを楽しむ、そういうことが、多様性を認めるということではないかと思えます。

自分と違う人といること、楽しい思いをすることができますか？ 自分の経験から言うと、できます。大学時代、自分の周りにいた友達は、自分と全く違うタイプの人ばかりでした。最初は、「こいつとは気が合わない」と思いました。でも、次第に、「そうか、そういう考え方もあるのか」と考えることが多くなりました。その繰り返して、狭い考え方しかできなかった自分の考えの幅がずいぶん広がった気がします。また、以前、生徒会新聞にも載せてもらいましたが、私の2人の息子には障がいがあります。このことも自分の心や考え方を広げてくれることになっていると思います。そして、そういったことが、自分自身が社会で生きていく力になっていると思います。大学時代の友人たちに出会っていなかったら、障がいがある息子に出会わなかったら、自分はずいぶん狭い考えかたしかできない、窮屈な人間であったと思います。いろんな人と出会う。いろんな考えに触れる。このことは、みなさんに社会で生きていく力をつけてくれると思います。新しい年度になりました。新しい級友、新しい学級担任、新しい教科担任、新しい部活動顧問など新しい出会いがあります。ぜひ、その出会いを、多様な人との出会いを楽しんでほしいと思います。

## ＝ 新年度 本校に赴任した先生方 ＝

氏 名	教 科 等	前 任 校
犬飼 喜博 (いぬかい よしひろ)	国 語	松本市立筑摩野中学校
北川 智子 (きたがわ ともこ)	事 務	安曇野市立豊科北中学校
北村 遼太郎 (きたむら りょうたろう)	理 科	軽井沢町立軽井沢中学校
高澤 夏野 (たかざわ なつの)	英 語	信州大学教育学部附属松本小学校
西村 英雄 (にしむら ひでお)	数 学	松本市立信明中学校
原田 菜のは (はらだなのは)	理 科	大鹿村立大鹿中学校
宮尾 慶子 (みやお けいこ)	国 語	安曇野市立豊科北中学校
宮澤 林太郎 (みやざわ りんたろう)	社 会	組合立両小野中学校
山崎 哲 (やまざき さとし)	数 学	松本市立丸ノ内中学校
山根 郁夫 (やまね いくお)	社 会	松本市立梓川中学校
吉澤 尚輝 (よしざわ なおき)	保健体育	長野市立東部中学校